

平成26年度

第8回市政モニターアンケート

野生動物への餌やりについて

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

## 目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
【1 哺乳類の野生動物の目撃状況について】	
(1) 市内での哺乳類の野生動物の目撃の有無	2
(2) 目撃した野生動物の種類	3
【2 野生動物への餌やりの経験について】	
(1) 野生動物への餌やりの経験の有無	4
(2) 餌やりをした野生動物の種類	5
【3 野生動物への餌やりの目撃について】	
(1) 野生動物への餌やりの目撃の有無	6
(2) 目撃した餌やりの具体的な内容	7
【4 野生動物への餌やりについて】	
(1) 餌やりで、野生動物が人に馴れることへの理解	8
(2) 人に馴れた野生動物の人への危険性への理解	9
(3) 野生動物への餌やりに対する考え方	10
【5 野生動物への餌やりに関する意見・要望について】	11
IV 全体考察	13

## I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	148人
回答者数	141人	(回収率 95.3%)
調査実施日	平成27年1月9日～平成27年1月30日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	産業経済局鳥獣被害対策課	TEL 582-2269

## II 市政モニターの構成

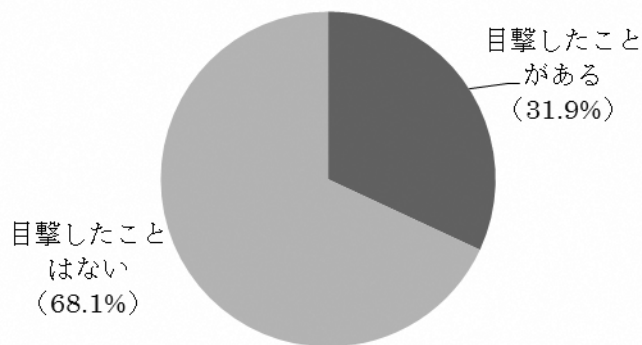
区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	148 (100.0%)	49 (33.1%)	99 (66.9%)	区別			
				門司区	10 (6.8%)	3 (2.0%)	7 (4.7%)
20歳代	9 (6.1%)	5 (3.4%)	4 (2.7%)	小倉北区	19 (12.8%)	8 (5.4%)	11 (7.4%)
30歳代	37 (25.0%)	4 (2.7%)	33 (22.3%)	小倉南区	23 (15.5%)	4 (2.7%)	19 (12.8%)
40歳代	28 (18.9%)	11 (7.4%)	17 (11.5%)	若松区	19 (12.8%)	6 (4.1%)	13 (8.8%)
50歳代	19 (12.8%)	1 (0.7%)	18 (12.2%)	八幡東区	19 (12.8%)	7 (4.7%)	12 (8.1%)
60歳代	33 (22.3%)	16 (10.8%)	17 (11.5%)	八幡西区	48 (32.4%)	17 (11.5%)	31 (20.9%)
70歳以上	22 (14.9%)	12 (8.1%)	10 (6.8%)	戸畑区	10 (6.8%)	4 (2.7%)	6 (4.1%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

#### 【1 哺乳類の野生動物の目撃状況について】

問1 あなたは、この2～3年以内に、市内で哺乳類の野生動物を目撃したことがありますか。

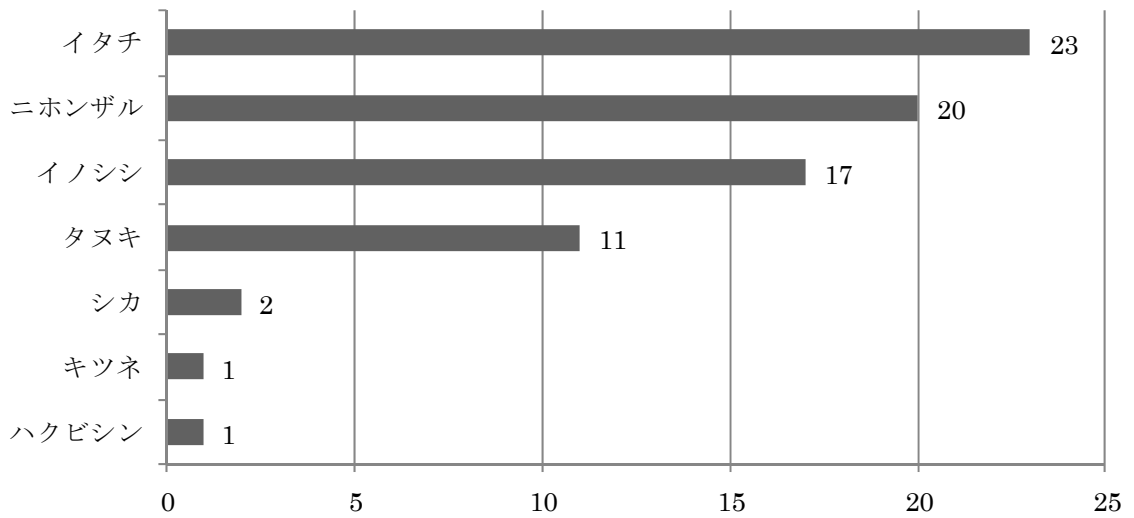


		回答者数	目撃したことがある	目撃したことはない	無回答
全 体		141人	31.9%	68.1%	0.0%
性別	男 性	47人	40.4%	59.6%	0.0%
	女 性	94人	27.7%	72.3%	0.0%
年齢別	20歳代	8人	12.5%	87.5%	0.0%
	30歳代	33人	15.2%	84.8%	0.0%
	40歳代	26人	34.6%	65.4%	0.0%
	50歳代	19人	52.6%	47.4%	0.0%
	60歳代	33人	30.3%	69.7%	0.0%
	70歳代以上	22人	45.5%	54.5%	0.0%
区 別	門 司 区	10人	30.0%	70.0%	0.0%
	小倉北区	19人	31.6%	68.4%	0.0%
	小倉南区	22人	36.4%	63.6%	0.0%
	若 松 区	18人	27.8%	72.2%	0.0%
	八幡東区	18人	50.0%	50.0%	0.0%
	八幡西区	45人	28.9%	71.1%	0.0%
	戸 畑 区	9人	11.1%	88.9%	0.0%

市内で哺乳類の野生動物を目撃したことがある方は31.9%であった。性別では男性の方が、目撃したことがあると回答した方が多い傾向にあった。

年齢別にみると、40歳代以上の方に目撃したことがあると回答した方が多い傾向にあった。

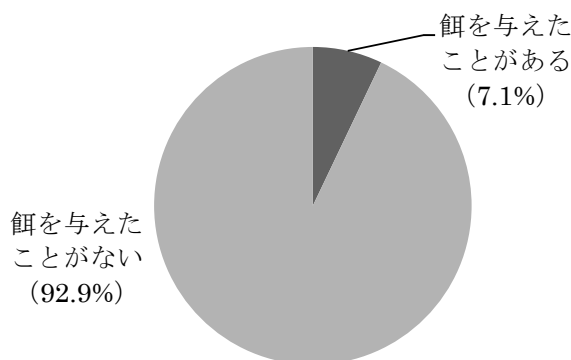
問2 あなたは、どのような哺乳類の野生動物を目撃しましたか。(複数回答可)



目撃したことがあると回答した方45人の目撃情報は延べ75件であった。  
目撃情報の多い動物は、多い順にイタチ23件、ニホンザル20件、イノシシ  
17件、タヌキ11件、シカ2件、キツネとハクビシンが各1件であった。

【2 野生動物への餌やりの経験について】

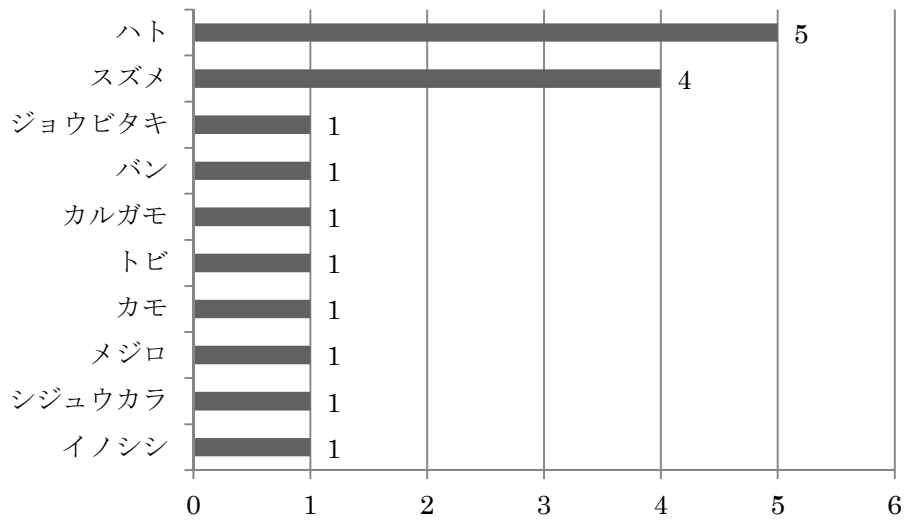
問3 あなたは、ここ2～3年以内に、市内で野生動物に餌を与えたことがありますか。



		回答者数	与えたことがある	与えたことはない	無回答
全 体		141人	7.1%	92.9%	0.0%
性別	男 性	47人	10.6%	89.4%	0.0%
	女 性	94人	5.3%	94.7%	0.0%
年 齢 別	20歳代	8人	12.5%	87.5%	0.0%
	30歳代	33人	9.1%	90.9%	0.0%
	40歳代	26人	3.8%	96.2%	0.0%
	50歳代	19人	5.3%	94.7%	0.0%
	60歳代	33人	6.1%	93.9%	0.0%
	70歳代以上	22人	9.1%	90.9%	0.0%
区 別	門 司 区	10人	0.0%	100.0%	0.0%
	小倉北区	19人	10.5%	89.5%	0.0%
	小倉南区	22人	4.5%	95.5%	0.0%
	若 松 区	18人	11.1%	88.9%	0.0%
	八幡東区	18人	5.6%	94.4%	0.0%
	八幡西区	45人	6.7%	93.3%	0.0%
	戸 畑 区	9人	11.1%	88.9%	0.0%

野生動物に餌を与えたことがあると回答した方は7.1%と少ないものであった。性別、年齢別、区別で比較しても、差は認められなかった。

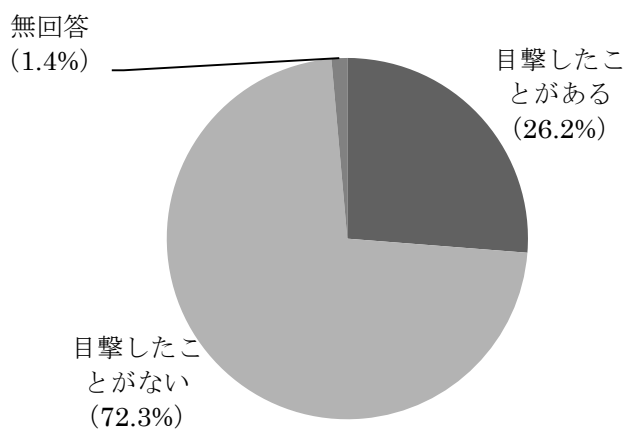
問4 あなたは、どのような野生動物に餌を与えましたか（複数回答可）。



餌を与えたことがあると答えた7. 1%の方が餌を与えた野生動物は多い順にハト5人、スズメ4人、ジョウビタキ、バン、カルガモ、トビ、カモ、メジロ、シジュウカラ、イノシシが各1人であった。

【3 野生動物への餌やりの目撃について】

問5 あなたは、ここ2～3年以内に、市内で野生動物に餌を与えているのを目撃したことがありますか。



		回答者数	目撃したことがある	目撃しなことはない	無回答
全 体		141人	26.2%	72.3%	1.4%
性別	男 性	47人	29.8%	66.0%	4.3%
	女 性	94人	24.5%	75.5%	0.0%
年齢別	20歳代	8人	12.5%	87.5%	0.0%
	30歳代	33人	24.2%	75.8%	0.0%
	40歳代	26人	19.2%	80.8%	0.0%
	50歳代	19人	31.6%	68.4%	0.0%
	60歳代	33人	30.3%	66.7%	3.0%
	70歳代以上	22人	31.8%	63.6%	4.5%
区 別	門 司 区	10人	20.0%	80.0%	0.0%
	小倉北区	19人	52.6%	42.1%	5.3%
	小倉南区	22人	31.8%	68.2%	0.0%
	若 松 区	18人	16.7%	77.8%	5.6%
	八幡東区	18人	16.7%	83.3%	0.0%
	八幡西区	45人	22.2%	77.8%	0.0%
	戸 畑 区	9人	22.2%	77.8%	0.0%

野生動物に餌を与えているのを目撃した方は26.2%であった。  
性別による差は認められなかったが、年代別では、年齢が高くなるほど目撃している方が増える傾向にあった。また、区別では、小倉北区での目撃が52.6%と最も高かった。



問6 あなたが目撃した内容をご記入ください。

	ハト	カラス	スズメ	イノシシ	鳥類	ニホンザル	動物種不明 など その他	合計
門司区	1	0	0	0	0	0	0	1
小倉北区	14	3	1	1	1	0	3	23
小倉南区	1	0	0	1	0	1	1	4
若松区	2	0	0	0	0	0	0	2
八幡東区	4	2	0	1	0	0	1	8
八幡西区	4	1	2	0	0	0	3	10
戸畑区	1	0	0	0	1	0	0	2
場所不明	1	0	1	0	0	0	2	4
合計	28	6	4	3	2	1	10	54

目撃した方から目撃した場所や動物について延べ54件の報告があった。

動物種別では、ハト28件、カラス6件、スズメ4件など鳥類への餌やりがほとんどを占めており、獣類はイノシシ3件、ニホンザル1件であった。

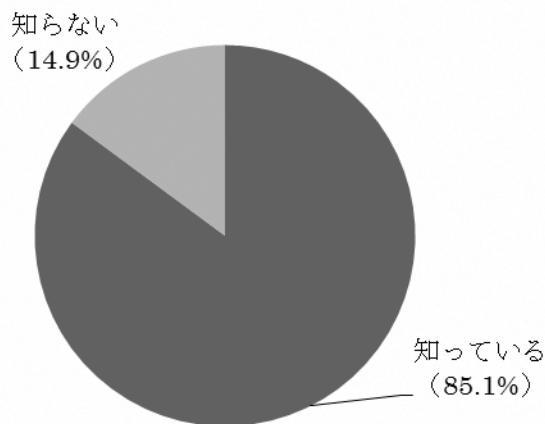
区別では、小倉北区（19件）、八幡西区（10件）及び八幡東区（8件）の3区での目撃が多かった。

目撃の多い小倉北区では、小倉城・リバーウォーク・勝山公園の周辺でのハト、到津の森公園・大手町公園の周辺のカラスへの餌やりの目撃であった。また、次に多い八幡西区では、黒崎駅・折尾駅周辺でのハト、穴生ドーム周辺でのスズメ、カラスへの餌やりの目撃であった。八幡東区では、公園などでのハト、カラスなどの鳥類への餌やりであった。

なお、獣類であるイノシシ3件は、小倉北区・小倉南区・八幡東区の各1件の目撃であった。

【4 野生動物への餌やりの問題について】

問7 あなたは、野生動物に餌を与えると人に馴れることを知っていますか。

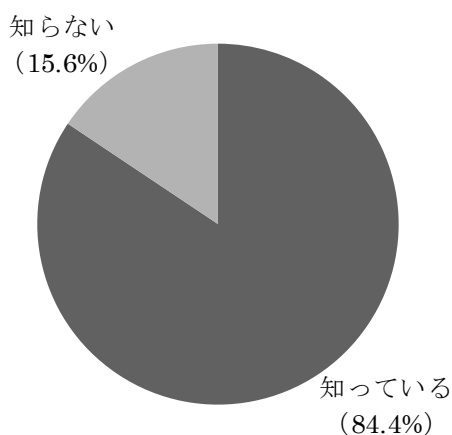


		回答者数	知っている	知らない	無回答
全 体		141人	85.1%	14.9%	0.0%
性別	男 性	47人	93.6%	6.4%	0.0%
	女 性	94人	83.0%	17.0%	0.0%
年 齢 別	20歳代	8人	87.5%	12.5%	0.0%
	30歳代	33人	84.8%	15.2%	0.0%
	40歳代	26人	84.6%	15.4%	0.0%
	50歳代	19人	89.5%	10.5%	0.0%
	60歳代	33人	84.8%	15.2%	0.0%
	70歳代以上	22人	81.8%	18.2%	0.0%
区 別	門 司 区	10人	60.0%	40.0%	0.0%
	小倉北区	19人	73.7%	26.3%	0.0%
	小倉南区	22人	86.4%	13.6%	0.0%
	若 松 区	18人	94.4%	5.6%	0.0%
	八幡東区	18人	72.2%	27.8%	0.0%
	八幡西区	45人	93.3%	6.7%	0.0%
	戸 畑 区	9人	100.0%	0.0%	0.0%

野生動物に餌を与えると人に馴れることを知っていると回答した方は、85.1%と多く、野生動物に餌を与えると人に馴れることは市民に理解されていることがわかった。

「知っている」と回答した割合に、性別、年齢別による差は認められなかったが、区別では、若松区(94.4%)、八幡西区(93.3%)、戸畑区(100%)は、他の区と比較して高かった。

問8 あなたは、人に馴れた野生動物が人に危害を及ぼすことがあることを知っていますか。



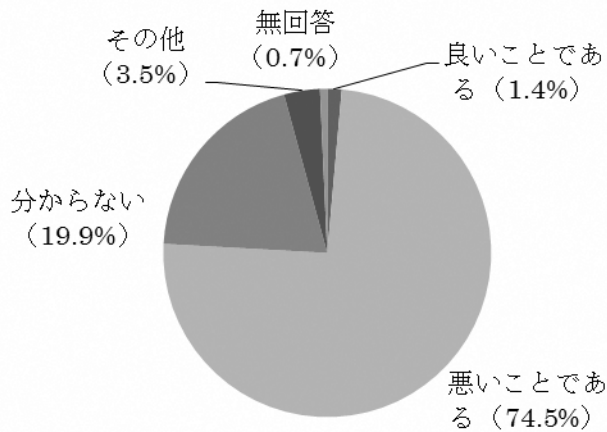
		回答者数	知っている	知らない	無回答
全 体		141人	84.4%	15.6%	0.0%
性別	男 性	47人	87.2%	12.8%	0.0%
	女 性	94人	83.0%	17.0%	0.0%
年齢別	20歳代	8人	75.0%	25.0%	0.0%
	30歳代	33人	75.8%	24.2%	0.0%
	40歳代	26人	80.8%	19.2%	0.0%
	50歳代	19人	94.7%	5.3%	0.0%
	60歳代	33人	97.0%	3.0%	0.0%
	70歳代以上	22人	77.3%	22.7%	0.0%
区別	門 司 区	10人	80.0%	20.0%	0.0%
	小倉北区	19人	73.7%	26.3%	0.0%
	小倉南区	22人	81.8%	18.2%	0.0%
	若 松 区	18人	88.9%	11.1%	0.0%
	八幡東区	18人	72.2%	27.8%	0.0%
	八幡西区	45人	93.3%	6.7%	0.0%
	戸 畑 区	9人	88.9%	11.1%	0.0%

人に馴れた野生動物が人に危害を及ぼすことがあることを知っているとは回答した方は、84.4%と多く、人に馴れた野生動物が人に危害を及ぼすことがあることは市民に理解されていることがわかった。

年齢別では、50代・60代に「知っている」と回答した方が他の年代に比べて多い傾向にあった。

区別では、八幡西区が他の区に比べて「知っている」と回答した方が多い傾向にあった。

問9 あなたは、野生動物への餌やりについてどのように考えますか。



		回答者数	良いことである	悪いことである	分からない	その他	無回答
全 体		141人	1.4%	74.5%	19.9%	3.5%	0.7%
性別	男 性	47人	0.0%	68.1%	23.4%	8.5%	0.0%
	女 性	94人	2.1%	77.7%	18.1%	1.1%	1.1%
年 齢 別	20歳代	8人	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	30歳代	33人	3.0%	87.9%	9.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	26人	0.0%	80.8%	15.4%	3.8%	0.0%
	50歳代	19人	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%
	60歳代	33人	3.0%	63.6%	24.2%	6.1%	3.0%
	70歳代以上	22人	0.0%	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
区 別	門 司 区	10人	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	19人	0.0%	84.2%	10.5%	5.3%	0.0%
	小倉南区	22人	4.5%	68.2%	27.3%	0.0%	0.0%
	若 松 区	18人	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	八幡東区	18人	0.0%	66.7%	27.8%	5.6%	0.0%
	八幡西区	45人	2.2%	75.6%	15.6%	4.4%	2.2%
	戸 畑 区	9人	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%

野生動物への餌やりでは、「悪いことである」と回答した方は74.5%で、多くの市民に野生動物への餌やりは悪いことであると認識されていた。一方、「良いことである」と回答した方は1.4%と少なかったが、「わからない」と回答した方が19.9%いた。

年齢別では、30代と40代で悪いことであるとの認識が高いが、20代と50代で「わからない」と回答した方が多い傾向にあった。

区別では、小倉北区と若松区で「悪いことである」と回答した方が多い傾向にあった。

## 【5 野生動物への餌やりに関する意見・要望について】

問10 野生動物への餌やりに関するご意見・ご要望があればご記入ください。

87件のご意見・ご要望をいただきました。主なものは次のとおりです。

### 餌やりはよくないことであるとする意見

- ・ 野生動物が餌やりによって人に被害を及ぼすのは困ります。餌をやる方に自制してもらえないと思います。
- ・ 人間の勝手、間違った解釈で餌をあげると、かえって動物にとってかわいそうなことになる。野生動物は動物園の動物とは違うことを把握して欲しい。
- ・ 自己満足に過ぎないと思う。かわいそうの気持ちからだろうが、後々の被害を考えると・・・
- ・ ペット感覚で餌をやってはいけない。
- ・ 動物がかわいいのはわかりますが、ちょっといいとこだけとって無責任だと思います。
- ・ 餌やりしている人は動物愛護のつもりかもしれないが、その野生動物が繁殖し、田畑を荒らし人に危害を加えることを理解して欲しい。

### 餌やりの危険性や正しい知識等の広報・啓発を求める意見

- ・ エサを与えている人はいいいことをしていると思っているので、意識をかえるための啓蒙は必要だと思う。
- ・ 野生動物への餌やりの弊害を広報周知する必要がある。たとえ一時的にかわいいと思ってもきちんと自制することが大切である。
- ・ 安直にえさを与えるのは動物のためにならないと思います。周知徹底の努力は必要だと思います。
- ・ 餌やりが動物の保護や愛護の気持ちからむしろ積極的に行われている場合もあるので、通り一遍の広報ではなかなか理解が得られないだろう。
- ・ 餌やりによって、生態系にどのような影響が出るか、自然とどうやって付き合っていくか、など啓発運動が特に必要だと感じます。

### 餌やりによって一定の理解を示す意見

- ・ 可愛さゆえ、つい本能的に餌を与えてしまいたくなる。ある意味仕方ないかもしれない。
- ・ 野生動物から子どもたちが危険な目に遭わないかと心配ですが、住処を失った動物たちのことを考えると餌やりを反対できない気がします。

### 野生動物の出没は山林の開発など人間側に原因があるとする意見

- ・ 環境を変えたのは人間である。地球で生きている生物は皆平等ではないか。
- ・ 都市開発などで住む場所を追われ、食べ物までもなくなったため、人間界に現れるようになったと考えられる。すべて原因は人間にあるため、一方的に人間だけの世の中と思うような考えはいかがなものかと思う。
- ・ 環境を人間が破壊した責任は大きい。野生動物だけの問題ではない。地球に生きる生き物だから人も動物も共存共栄が大事。

### ごみ出しマナーやごみの管理に関する意見

- ・ 生ごみの不法投棄などゴミの管理の問題がある。
- ・ ごみ出しマナーの徹底をお願いします。

### 条例、規定、罰則等による規制を求める意見

- ・ 北九州市の条例で餌付け禁止にしてください。
- ・ くわえたばこ禁止や駐車禁止のように罰則を与えてみてはどうかと思う。

### 捕獲の強化を求める意見

- ・ 居住地付近のイノシシは積極的にわなを用いて捕まえて処分しなければならない。
- ・ 生活区域をはっきり区別させるため、駆除も必要。
- ・ 徹底的にイノシシ狩りをやってもらいたい。

### その他の意見など

- ・ できれば捕獲して山とかに返してあげればよいと思いますが、害を及ぼすおそれがあるサル、イノシシ等は駆除するのも仕方がないのかなと思います。
- ・ 目の前の人間の一方的な利益だけを考えていては抜本的な問題の解決にならないと思います。
- ・ 自ら餌を獲得するから「野生」であることを忘れてはならない。野生動物が、人間が持っている、あるいは人間そのものを餌と認識すれば、餌獲得の標的となることも知っておかなければならない。
- ・ 全国的に野生動物によるいろいろな被害が報じられています。ただ単に野生動物に餌を与えるとか与えないとか言う問題ではないと思います。

## IV 全体考察

### 【哺乳類の野生動物の目撃状況】

市内で哺乳類の野生動物を目撃したことがある方の割合は31.9%であった。目撃した主な野生動物は、イタチ、ニホンザル、イノシシ、タヌキであった。イタチが最も多い理由は、家屋の屋根裏、床下など人に近い場所で生息しているためと考えられる。

### 【野生動物への餌やりの経験】

野生動物に餌を与えたことがあると答えた方の割合は7.1%と低かった。餌を与えた対象動物は、ほとんどが野鳥であったが、イノシシに餌を与えたことがあると回答した方が1名いた。

### 【野生動物への餌やりの目撃】

野生動物への餌やりを目撃したことがある方の割合は26.2%と、約4人に1人が目撃していた。目撃した野生動物はハトが最も多く、ついでカラス、スズメなど鳥類が大半であったが、イノシシなど獣類への餌やりを目撃した方もいた。

### 【野生動物への餌やり】

野生動物に餌を与えると人に馴れることを知っている方の割合は85.1%、人に馴れた野生動物が人に危害を及ぼすことがあることを知っている方の割合は84.4%といずれも高く、市民に餌やりによる野生動物の人馴れやその危険性は理解されていることがわかった。

野生動物への餌やりについては、「良いことである」と回答した方1.4%に対し、74.5%の方が「悪いことである」と回答しており、多くの市民に餌やりは悪いことであると認識されていることがわかった。

### 【まとめ】

野生鳥獣への安易な餌付けは、人の与える食べ物への依存や人馴れを進めることなどにより、市民の生命、身体及び財産に対する安全を脅かすことになる。

今回の野生動物への餌やりに関する市民アンケートの結果を、今後の鳥獣被害対策や餌付け防止対策に活かしていきたい。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局市民部広聴課 (TEL : 582-2527)

【アンケートに関すること】

産業経済局農林水産部鳥獣被害対策課 (TEL : 582-2269)